

令和4年5月17日

関係各位

埼玉大学教育学部附属中学校  
校長 安藤 聡彦

## 学校公開のお知らせ

新緑の候、皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本校では受検を考えている小学校第5・6学年児童とその保護者を対象にした授業公開を下記の通り行います。

つきましては、ご多用の折とは存じますが、ぜひご参加いただき、本校の教育について理解を深めていただきたいと存じます。

なお、本校ホームページからの参加申し込みが定員に達し次第、締め切らせていただきます。

### 記

- 公開日 令和4年6月18日（土）
- 日 程 受 付 8：50～  
公開授業① 9：05～ 9：55  
公開授業② 10：10～11：00
- 公開する授業 ※授業の詳細等につきましては、当日配付する別紙を御覧ください。

年 組	公開授業①9:05～9:55	公開授業②10:10～11:00
第 一 学 年	A 保健体育（原賀）	社会（高橋）
	B 保健体育（阿部）	理科（伊藤）
	C 国語（大谷）	英語（蓬澤）
	D 理科（伊藤）	国語（大谷）
第 二 学 年	A 理科（山本）	技術（木村）
	B 社会（細野）	家庭（ 宗 ）
	C 数学（岸本）	国語（大塚）
	D 国語（大塚）	社会（細野）
第 三 学 年	A 国語（碓氷）	美術（小西）
	B 社会（石高）	英語（ 森 ）
	C 英語（ 森 ）	国語（碓氷）
	D 美術（小西）	音楽（荒井・柳下）

### 4 備 考

- 本校ホームページからお申し込みの上、掲載している参加票（別紙）に事前に必要事項を記入し、当日の朝、受付に提出してください。
- 玄関付近の受付にて受け取った受付証を、見える位置に貼り付けて見学してください。
- 児童・保護者各1名の参加が可能です。児童のみの参加はできません。
- 自家用車での来校はできません。また、本校周辺は駐車禁止区域です。
- 自転車は所定の場所に並べて停めてください。
- 新型コロナウイルス感染症対策のため、不織布マスクを着用いただき、37.5℃以上ある方、体調がすぐれない方はご来校をお控えください。
- 上履き・下足入れをご持参ください。
- 授業や掲示物につきまして、個人情報管理の観点より動画や写真の撮影はお断りしております。

# 公開授業（第1校時） 9:05～9:55

年	組	教科等（授業者）	題材や単元名	授業内容	会 場
第一学年	A	保体（原賀）	器械運動（鉄棒・平均台）	鉄棒や平均台を用いて技に挑戦したり、演技構成を考えたりします。	鳳翔館・校庭
	B	保体（阿部）	器械運動（マット運動）	マット運動で回転系や攻技系の技に挑戦します。	体育館
	C	国語（大谷）	言葉を集めよう	相手に「伝わる」表現、言葉を探して附属中学校の魅力を在校生から伝えます。	C1国
	D	理科（伊藤）	物質の科学	「物とは何か？」について生徒が思い思いの探究を行います。	第2理実
第二学年	A	理科（山本）	電流とその利用	「電気とは何か？」についての探究を通して、その正体に迫ります。	第1理実
	B	社会（細野）	近世の日本	「南蛮屏風」の描かれた時代の出来事を通して、この時代の特色に迫ります。	C2社
	C	数学（岸本）	連立方程式	パズルゲームをきっかけに、連立方程式を発展的に用いる方法を模索する活動を行います。	C2数
	D	国語（大塚）	短歌に親しむ	自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を吟味して、短歌を創作します。	C2国
第三学年	A	国語（碓氷）	「場」に応じたプレゼンテーションをしよう ～小学生に附中の魅力を伝えよう！～	在校生が、参観者に向けて附属中の魅力を伝えるプレゼンテーションを行います。活動を通して、「場」に応じた聞き手への働きかけについて探究します。	C3国
	B	社会（石高）	人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	「人権が守られる社会にするために私たちは何ができるだろう」という問いを考えることを通して、政治が憲法に基づき行われていることの意義について多面的・多角的に考察します。	C3社
	C	英語（森）	Program 3 A Hot Sport Today	動詞 make の新しい使い方とは？英語を聞いたり読んだり、自分の意見を相手に伝えたりしながら学びます。	LL 教室
	D	美術（小西）	用と美	身近な生活や社会の問題をデザインで解決するため、探求・制作を行います。	美術室

# 公開授業（第2校時） 10:10～11:00

年	組	教科等（授業者）	題材や単元名	授業内容	会 場
第一学年	A	社会（高橋）	古代までの日本	「古代とは一体どのような時代なのか」について生徒が探究します。	C1社
	B	理科（伊藤）	物質の科学	「物とは何か？」について生徒が思い思いの探究を行います。	第2理実
	C	英語（蓬澤）	PROGRAM 4 Let's Enjoy Japanese Culture	教科書で学んだことを活用し、自分の意見や教科書の内容を英語で伝えたり、英語ならではの正しい発音やイントネーションなどを活動を通して学んだりします。	C1英
	D	国語（大谷）	言葉を集めよう	相手に「伝わる」表現、言葉を探して附属中学校の魅力を在校生から伝えます。	C1国
第二学年	A	技術（木村）	附属中ロボットコンテストを開催しよう	「附属中ロボットコンテスト」の開催に向けて、生徒がロボットの構想をしたり、実際に制作したりします。	技術室
	B	家庭（ 宗 ）	栄養バランスのよい献立作成をしよう	中学生に必要な栄養を満たす食事についての課題を解決するために、健康などの視点から1日分の献立を考えます。	被服室
	C	国語（大塚）	短歌に親しむ	自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を吟味して、短歌を創作します。	C2国
	D	社会（細野）	近世の日本	「南蛮屏風」の描かれた時代の出来事を通して、この時代の特色に迫ります。	C2社
第三学年	A	美術（小西）	用と美	身近な生活や社会の問題をデザインで解決するため、探求・制作を行います。	美術室
	B	英語（ 森 ）	Program 3 A Hot Sport Today	動詞 make の新しい使い方とは？英語を聞いたり読んだり、自分の意見を相手に伝えたりしながら学びます。	LL 教室
	C	国語（碓氷）	「場」に応じたプレゼンテーションをしよう ～小学生に附中の魅力を伝えよう！～	在校生が、参観者に向けて附属中の魅力を伝えるプレゼンテーションを行います。活動を通して、「場」に応じた聞き手への働きかけについて探究します。	C3国
	D	音楽（荒井・柳下）	音の重なり方を感じながらミニマルミュージックを楽しもう	創作領域で思考・判断したことを踏まえて、ミニマルミュージックを鑑賞します。	音楽室